

令和6年能登半島地震

TMAT 災害医療活動報告

2024年1月9日 7:00

第7報

1月8日

7:00

活動開始

夜間帯の申し送りと本日の予定について確認

感染症患者の対応について検討

8:00

医療調整本部にてDMAT、その他チームと定例ミーティング。

避難所で感染症（コロナ、インフル、感染性胃腸炎）が増加しているとの情報。主に高齢者が感染しているため、衰弱が顕著である状況。

モバイルファーマシーが入る予定だが、地元薬局の再開が進んでおらず、供給不足が懸念される

9:00

施設内ミーティングを実施

本日の配置について決定。

午前帯

部屋移動と環境整備を主に実施。

・発熱、嘔吐、下痢の感染症の避難者が急増しており、消化器症状の避難者を中心に隔離対応を開始した。また、追加で感染症部屋を作成する方針とし、1階から3階の避難者の部屋移動を行った。

・消化器症状の避難者急増のため、三重県の保健師と協力しスピルキットの作成と配置、使用方法の説明文の作成を行うこととした。

・ADL低下予防などを目的にTMATが主体となり、避難所の中学生とともに1日2回（10時と15時）ラジオ体操を実施。

・トイレ清掃の実施。ゴミの収集ができておらず、ゴミ袋からあふれており、ゴミの回収を定時で決め、回収し衛生環境を整えていくことを継続した。

午後

ゾーニング、ラジオ体操、段ボールベッドの組み立て設置

・前日のできなかった3階のゾーニングを実施。女性から要望があり、更衣室もワンタッチテントを利用し作成。

19:00~21:00頃

段ボールベッドが60個搬入され、DMAT支援隊、自衛隊の協力を得て作成、必要箇所へ設置を行った。

本日の診療

69名 感染症関連の診断が急増。本日の診療の74%が呼吸器、消化器の感染症に関連する。
(胃腸炎診断が半数以上)

救急搬送1件対応。

なお、令和6年能登半島地震 TMAT支援活動のクラウドファンディングを開始しています。
ご支援ご協力をお願いいたします。

TMAT 令和6年能登半島地震クラウドファンディング

<https://congrant.com/project/npotmat/9905>



TMAT チームミーティング



保健師とともに簡易スピルキット作成



避難者とともに清掃、ゾーニング



福祉避難所に段ボールベッドの設置

事務局担当

野口 幸洋 (NPO 法人 TMAT 事務局長/一般社団法人徳洲会東京本部)

阪木 志帆 (NPO 法人 TMAT/一般社団法人徳洲会東京本部)

文責 事務局 野口 幸洋